

地域	地域の将来像と暮らしのイメージ	地域にとって重要な施設の例
<p>広域拠点エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的都心エリア ・京都駅周辺エリア ・二条・丹波口・梅小路周辺エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 京都を代表する広域的な商業施設や、多くの企業が活動する高機能なオフィスビル、ホールや展示場などのMICE施設といった広域・高次の都市機能が幹線道路沿道を中心に集積し、来訪者をスムーズに受け入れる機能的な都市環境が整備されることにより、国内外から多くの人々が行き交い、働き、交流が行われている。 2 都心居住による地域の文化・コミュニティが維持され、祭事などが活発に行われ、京都の歴史・文化が脈々と受け継がれている。 3 都市基盤整備の状況に応じて、商業・業務がさらに活況を呈し、五条通沿道などでは、京都リサーチパーク地区を中心に先端産業の創出拠点として、研究開発、育成機能を持つゆとりあるオフィス空間が集積し、世界水準の高い技術を有する企業や多様な人材が集い、新たな活力や賑わいが生み出されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・百貨店 ・オフィス ・MICE施設 等
<p>地域中核拠点エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市間交通結節拠点 ・文化・交流特色拠点 	<ol style="list-style-type: none"> 1 各地域における主要な公共交通の拠点として、あらゆる目的で出かけてきた多くの住民が行き交い、地域の中心としてのニーズに応えることができる一定規模の商業店舗や各種サービス施設、地域の拠点となる病院など多様な都市機能を徒歩圏で利用できることで、広域拠点まで行かなくても、一通りの用件を効率的に済ませることができる。 2 子供から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じて、医療、子育て支援など必要な機能を快適に選択し、地域の暮らしやすさを実感している。 3 ニーズに合わなくなった建物の更新や、改修(リノベーション)、機能更新(コンバージョン)が図られ、時代の変化に応じたまちの魅力・活力が維持・向上している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ニーズに応える商業店舗 ・地域の拠点病院 等
<p>日常生活エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市居住エリア ・郊外居住エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活を支えるスーパー等の商業施設、病院・診療所、保育所などの福祉施設、学校などが身近に存在し、日常生活の利便性が確保されるとともに、子どもから高齢者までの多世代が、住み慣れた場所で安心安全・快適に居住している。 2 良質な住宅ストックの活用等により、定住人口の確保と特色ある地域の文化・コミュニティの維持が図られ、京都ならではの歴史・文化と身近に触れ合える生活が実現されている。 3 公共交通の沿線エリア等において、若年・子育て世代のニーズに合ったゆとりある集合住宅等が立地するなど、安心して子どもを育てられる暮らしの場が実現されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー ・病院・診療所 ・保育所 ・高齢者福祉施設 等
<p>ものづくり産業集積エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部産業集積エリア ・南部産業集積エリア ・新産業・研究開発型産業集積エリア 	<ol style="list-style-type: none"> 1 工場とともに住宅や商業施設が多く立地するなど、市街化が進んでいる工業地域では、工場等の操業環境が、居住環境と調和しながら確保され、都市の利便性や京都らしさを十分に活かした多様なものづくり産業が活発に活動している。 2 高速道路や国道へのアクセス性が高く、区画整理が進むなど更なる工場の集積が期待できる工業地域では、工場の操業環境と居住環境の調和を図りながら一定まとまった産業用地やゆとりある産業空間が確保され、ものづくり産業の事業拡大や新規立地が進んでいる。 3 新たな京都を発信するものづくり拠点として、まちづくりを進めているらくなん進道などでは、国内外の最先端のものづくり企業の本社オフィスや生産、研究開発、物流施設等が集積し、居住環境との調和が図られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり関連工場、 ・研究所、オフィス ・物流施設 等
<p>緑豊かなエリア</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 豊かな自然を活かした都市部との文化・経済的な交流が活発に行われている。 2 地域特有の生活・文化・コミュニティが維持・継承されるとともに、余暇や趣味を楽しむゆとりのある生活を求める人々の移住・定住が促進されることにより、人口の維持が図られている。 3 農林業、観光等をはじめとする産業の振興等により、働く場が確保されるとともに、地域外から多くの人々が訪れ、地域が活性化している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産業・生活を支える施設 ・観光関連施設 等
<p>学術文化・交流・創造ゾーン</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 伝統産業や生活文化が受け継がれる地域において、伝統産業と最先端の技術やアートが結びつくなど、暮らしと調和したクリエイティブな活動が行われている。 2 大学の周辺において、学生や研究者などが多く集い、活発な交流が行われ、新たな技術やビジネスなどが生み出されている。 3 観光資源の豊富な地域において、ほんものの歴史や文化、伝統に触れ、京都ファンが増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・京町家を保全したデザイン開発拠点、 ・起業を目指す学生や若手研究者が集うオフィス・ラボ ・伝統文化を学べるミュージアム 等